



発信元：岡山県湯郷温泉季譜の里 女将 佐々木裕子

岡山県美作市湯郷180

佐々木裕子直通電話 (090) 8066-1523

湯郷の旅館『季譜の里』が地元工芸作家たちによる 地産地消の手作り旅館にリニューアル

湯郷温泉 季譜の里（岡山県美作市、代表取締役 佐々木慎太郎）が、地元の工芸作家、アート作家、職人たちと協力して、湯郷でしか体験できない地産地消の旅館にリニューアルします。岡山県西粟倉村が取り組む100年の森林プロジェクトの檜を使った家具やスプーン、季譜の里のコンセプトを象徴する備前焼き、湯郷のガラス製品、津山のさおり織り、地元の資源を活用したリニューアルは、業界初の試みです。

～合同記者会見のご案内～

●とき 9月25日 11時～15時

●ところ 岡山県美作市湯郷180 湯郷温泉 季譜の里内ロビー

※桧の家具を開発した木工ようび大島正幸を交えた合同記者会見を行います。

■季譜の里 湯郷プラザホテルが季譜の里へリニューアルし10周年。岡山県内の旅館でJTBアンケートで6年連続1位を獲得。ユニバーサルデザインでは一昨年は県内で大賞、昨年は全国で5社が選ばれた内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞した。女将の佐々木裕子は湯郷だけでなく美作三湯女将の会会長を勤め、全国を岡山のPRに飛び回っている。かつて、ロンドンオリンピックのサッカー女子日本代表の宮間あやが働いていた。

■木工ようび 季譜の里の家具を製作している工房。栃木県出身の木工ようび代表大島正幸は5年前岐阜県高山市の大手家具メーカーから独立し、岡山県西粟倉村の100年の森林プロジェクトに参加する為、単身で西粟倉に移住。間伐材をより高い価値で市場に提供する事を目的とし、独自技術を開発し、ものづくり業界で様々な賞を受賞。作品は六本木ヒルズの店頭にも並ぶ。近年では京都『唐長』とのコラボ作品「見る為の椅子」、音楽プロデューサー小林武史やミスチルの櫻井和寿の率いるAPBANK FESで国内資源を循環させる家具として新商品が紹介される。

■その他、備前作家、ガラス作家、地元の職人などが多数参加する予定です。

—————<この件に関するお問い合わせ先>—————

●通常の取材はいつでも受けております。季譜の里までご連絡下さい●

電話：(0868) 72-1523

FAX:0868-72-4365

〒707-0062 岡山県美作市湯郷180 季譜の里(きふのさと) 内 取材対応窓口